

平成27年度山の一日先生派遣事業（森林環境税）利用団体募集

7つの授業で森林環境学習

主催団体：物部川21世紀の森と水の会

はじめに

物部川流域には、源流域の三嶺の森（県下最大の原生的自然林）、中流域の広大な人工林、そして里山の広葉樹・照葉樹林など多様な森林があり、中心に物部川が流れています。しかし、流域の森と水は一見豊かに見えますが、それぞれ問題点もあります。

例えば、源流域の自然林は今、シカの食害によってボロボロになり、ササ枯れ、樹木枯れ、そして土砂流出・崩壊が進行し、流域の環境問題を生んでいます。中流域の人工林も手入れ不足で、緑のダムや土砂崩壊・流出防備などの公益的機能（環境財としての価値）が損なわれています。

その結果は、物部川に濁水をもたらしたり、雨が降らないと渇水になったりし、下流の生き物や人びとの生活にも多大な悪影響をもたらします。

森と生き物、そして流域の人びとの暮らしは、水を通じ、物部川を通じてつながっています。

森が豊かに保たれていてこそ、生き物や人びとのくらしも豊かになります。

自然と親しみ接する力を身につけるとともに、大切な環境の源である森について、その役割や問題点を知り、「自分たちができることは何だろうか」という気持ち呼び起こす森林環境教育を提供したいと考えています。

「7つの学校」プログラム

学校名 (受け入れ件数)	どんな学校(指導内容)
1 森・川・海のつながりと森の役割を学ぶ ～オリジナルDVD、パワーポイント等による出前授業～ (受け入れ件数 4件) 期間: 27年7月～28年1月下旬まで	<p>森が壊れたら、川、海も壊れる。「森は海の恋人 川はそれらをつなぐもの」の話、当会並びに三嶺の森をまもるみんなの会等の実践している環境保全啓発活動の取り組み紹介などをまじえ、大切な森の役割や森林を保全する意義、地域共生の重要性などへの理解を深め、「自分たちができることは何だろうか」を考えていただきます。</p> <p>自然環境の現状認識と“本来あるべき姿(本質)”を知ること、日々のくらしの見直しや環境保全意識の芽生えへとつながるはずです。</p> 
2 「奥山自然林の学校」 ～白髪山・みやびの丘にて自然林と水を守る意味を学ぶ～ (受け入れ件数 2件) 期間: 7月中旬～11月上旬	 <p>自然林の役割(生き物と水と土を守り育む)学習とシカ食害の現状観察。</p> <p>日程的な余裕があれば、高知中部森林管理署と共に稚樹を守る活動。</p> <p>《場所》香美市物部町白髪山・みやびの丘・さおりが原(物部川源流域の国有林です。)</p> <p>《制約条件等》</p> <p>現場は遠い場所ですので、早朝出発が必要です。バスは残念ながら中型バスしか通行できません。バスがチャーターでき、長時間活動の可能な団体に限られます。</p>

3 「森づくりの学校」

～人工林の役割と森づくりの目標、山の手入れの大切さを学ぶ～

(受け入れ件数 2件)
期間:10月～28年1月



人工林は木材生産の場だけでなくたくさんの公益的機能を有しています。

安全祈願祭(山の神)や水と土の話・丸太伐り・間伐体験などのフィールド実践を通して、森づくり(林業)の大変さやその重要性について学んでいただきます。

場所は、香美市の民有林等

4 「里山の学校」

～身近な里山で自然体験 自然遊び学習～

(受け入れ件数 3件)
期間:9月～28年1月

のいち動物公園に隣接する「のいち憩いの森(冒険の森)」にて里山の生き物たちの観察(多様な樹木の特性や小動物、昆虫、木の実、キノコなど)そしてネイチャーゲームや山の幸採り(グリ・シイ・シイタケなど)等を通して、森の働きを知り、自然に親しむことの楽しさや大切さを伝えるフィールド学習を実施します。特に10月は、グリ拾いが楽しいです。



5 「川の学校」

～物部川などにて川の生き物たちとのふれあい学習(川から森を考える授業)～

(受け入れ件数 2件)

期間:7月～9月中旬



川はワンダーランド。シュノーケリング教室。清流の指標アユや水生昆虫の観察。グリや川エビ捕りなどの川漁体験。そしてオリジナル紙芝居による上流の山の現状やダム、森・川・里・海のつながり学習を通して、清流とは何なのか、そして森を守る意義とはどういったことなのかについて、川と親しみながら、学んでいただきます。

6 「木の学校」

～木材と親しみ森の大切さを学ぶ～

(受け入れ件数 2件)

期間:7月～28年1月



木を使うことは森を守ること、木工クラフトづくりや紙漉き体験などを通して、木材利用(住宅や家具・木材は炭素の缶詰)の重要性や資源循環の仕組みなどを学んでいただきます。



7 森の散策や自然への誘いの学習～自然の仕組みや不思議再発見～

(受け入れ件数 2件)
期間:9月～28年1月



学校及びその近辺、野山への遠足・軽装登山、環境バスなどのフィールド学習を実施する際に出前講師をします。

森林インストラクターや自然観察指導員・ネイチャーゲームリーダー等が森の案内人にあたります。

自然を見る目がかわるかも…